

**レッスンを知ってもらうために  
サイトを作ろう！**

**インストラクター編**

# 目的は一つ

読んだお客さんに、サービスに申し込んでもらうこと。

【例】

- レッスンに来てもらう
- セッションを受けてもらう
  - • • なので、リンクは貼らない。

# 前提として

- あなたのことは知らない
- はじめて、あなたを見つけてくれた人に向けて書く

# これを読んだお客さん

「ここに行けば

(この人なら・このサービスなら)

悩みを解決してくれそう！

希望を叶えてくれそう！」

申し込みのハードルは出来るだけ低く  
する。

# はじめに準備しておくもの

- 名前、プロフィール画像
- サービス名、サービスの内容
- 場所
- 価格(支払い方法)
- 服装持ちもの
- 画像など
- 肩書き
- 資格と今までやってきたお仕事
- 申し込み先のメールアドレス(ビジネス用に)

# プロフィール画像は統一する

人は何度も見るうちに親近感・好感を抱くようになる。

# 自分のキャラクターイメージ

- 自分のキャラクターイメージを決める
- 太陽なのか、月なのか
- 横並びなのか、指導者なのか
- それによって文章の書き方も変わってくる

# どんなお客さんに来て欲しいのか

- 年齢 家族構成 仕事 体型 服装  
メイクヘアスタイル 趣味 ライフス  
スタイル 悩み等
- 書くときは、一人に決める

# お客さんの3つの質問に答える

- **メリットはなんですか？**
- **私にできるんですか？**
- **なぜ、今、やらなければいけないんですか？**

# 私がこれをやる理由

- 何のために、なぜ自分がそれをしなければならないのか？
- なぜ自分が？という理由(ストーリー)が選ばれる理由になる
- 書く内容をまとめるのには、点メモを使うと良い

# イメージ画像について

- Strikinglyにもかなりの数が用意されている
- 無料サイトを利用する
  - 【例】 ・ 足成 <http://www.ashinari.com/>
  - ・ ぱくたそ <https://www.pakutaso.com/>
- 自分で撮影する
- ネットから流用しない(著作権違反)

# 実際に作業してみる

- とにかく慣れる
- 完璧を目指さない
- 後で必ず直したくなるから
- 何度でも直せばいい

# 作成した後

- SNS(Facebook,Instagram,Twitter等)のプロフィール欄にリンクを貼る
- ブログにリンクを貼る
- ヨガ総合サイトに申し込む

【例】 ・ ヨガルーム <http://www.yogaroom.jp/>